

# いとう 純一

## 後援会ニュース

【発行責任者】後援会長 山田 三津男

【発行日】2018年2月20日(火) 第25号

【発行所】いとう 純一 後援会事務所

<住所> 横浜市南区榎町2丁目51番地

<Tel> 045-315-3115 <Fax> 045-315-3175

<E-mail> itou@bell.ocn.ne.jp

早春特集号

### 後援会定期総会

2018年度

### いとう純一・早春のつどい

3/10(土)

月日のめぐりは実に早いもので、来年が市議員改選の統一自治体選挙です。一期目のいとう 純一も、南区市会定数が1減とされた中で、いよいよ正念場を迎えます。

昨秋「突然の総選挙」での新たな展開をめざした決意と選挙戦をとおした奮闘をふまえて、ご支持いただいた後援会員・多くの区民支持者の声と後押しをいただき、是が非でも2期目の議席を死守するため、全力をかける決意を固めています。

私たち後援会も、一丸となっていとう議員の決意を支えるため、多くの会員のご参加を訴えます！

【開催日】2018年3月10日(土)

(総会：12時/早春：13時 開会)

= ¥3,000

【ところ】総会・早春 ともに

神奈川県地域労働文化会館

(自治労県本部会館)

<アクセス>市営地下鉄・阪東橋 下車、徒歩

(駅構内の案内表示ご参照！)

【総会は7F 特別会議室、早春は2F 会議室】

※ 「早春のつどい」ご参加の際は、同封の「参加券」を受付に定時の上、参加費をお収めください。

### 市・新「中期4か年計画」策定へ

～ 市民の声反映をめざします！～

市は1月30日、18年度当初予算案を発表しました。一般会計は1兆7千3百億円(前年度比+5.1%)特別会計・公営企業会計含む総額は3兆5,911億円(+0.6%)です。

今年は新たに始まる「中期4年計画」策定年となり、市の将来を決する重要な節目となります。

これまで右肩上がりの人口も、来年をピークに減少に向かい、労働力や社会構成の担い手減が危惧されます。市は、その克服にむけ30年を展望した中期6戦略と直近4年間での重点38施策を発表しました。

9月の計画策定にむけ、3月23日までの間市民意見を募集し、計画反映するとしています。

市会第1回定例会(～3/23)予算審議において、私いとう純一は、いくつかの局予算案で党を代表して質問に立つ予定です。

☆関連する資料は市や市会のホームページでも入手可能で、当事務所からも提供できますので、地域の要望や関心のあるテーマについてぜひご意見をお寄せ下さい。できるだけ、質問事項に生かしたいと思います。

### ”純さんぽの会”はじめます！

昨年来幹事会で、いとう後援会らしいレクリエーション企画を検討してきました。議員と一緒に気軽に街歩きを楽しんでみようかと相談した結果、地元南区の「七つの丘」を一つずつ歩いて、終点近場のお店で解散会をやってはどうか、となりました。



総会終了以降、議員の空き日に合わせて日程・コースを決定します。

まず試しに、幹事プラスαのメンバーで、3月中の第1回分を新ホームページで案内します。

春の半日ほどを楽しんでいただければ幸いです。

【新ホームページ】 [itou-junichi.jp/](http://itou-junichi.jp/)

七つの丘マップ

南区役所ホームページから



真い景色です！  
全部の丘に登ってみよう！

## 後援会活動一年の流れ

### 2017年度定期総会・早春のつどい

年度総会は、2017年3月5日(日)に神奈川県地域労働文化会館で開催し、年間活動の報告と新年度活動計画・新役員体制と「賛助会員制度」の継続、ふくかいちょうの規定にかかわる規約の一部改正を提案し、承認を得た。

早春のつどいは、幹事と会員の協力による日舞の友情出演を交え、各界の来賓と会員を迎え盛大に開催できた。

### 横浜市長選挙のとりくみ

出身の自治労横浜・横浜市労連・横浜地域連合などの組織内・関係議員の立場から、それぞれの方針決定をふまえて林文子現市長の継続を支持し、当選にむけた支援の活動に奮闘した。

6月19日開催の横浜地域連合主催の「明日の横浜を考える夕べ」にも壇上からエールを送る立場で参加し、また後援会員の方々にも会場参加いただいて、集会の成功に寄与した。

横浜地方自治センターが関わる政策検証をふまえた支援活動の結果、確実な当選を実現した。

### 平和なイベント in よこはま 2017

9月2日(土)の午後、新設2年目の南公会堂ホールで、3回目が開催された。齋藤つよし顧問が代表呼びかけ人となり、いとう後援会ときしべ後援会をはじめ市・区内の関係団体から委員の派遣を受け、実行委員会を構成して企画運営の準備に当たった。

メイン講演で登壇された山口二郎法政大教授の演題も「私たちの暮らしを見つめよう 何故今9条改憲?」と時宜を得たもので、マスコミ報道にも取り上げられ、参加者も盛況となった。

事務局関係者が事務所周辺地区を、また幹事が各自宅周辺区域へのチラシ約2,000枚の配布を行って、広報活動を支援した。

### 突然の総選挙!!

憲政史上その根拠・有効性が疑われながら安倍総理は総選挙に打って出た。虚を突かれる状況で、いとう議員が所属する“民進党”は党首が小池新党との合流を掲げて自前候補を擁立せず、結果として新党・立憲民主党、希望の党、と民進党籍のまま無所属の3分解となった。

安倍政権大番頭・菅官房長官地元の2区での対抗馬が期待された中、元々旧民主党当時から予定候補に名乗り上げていた新人・高橋のえの立憲民主党からの立候補が急遽決定した。

所属する自治労の総選挙方針をふまえ、また高橋候補の掲げる選挙公約との一致点から判断し、いとう議員は先頭に立って支援の意思を固め、西・港南・南の選挙区を駆け巡った。

残念ながら結果には結びつかなかったものの、南区における獲得票数は、今後の地域活動に大きな激励を与えるものとなった。

### 秋恒例、後援会合同バスの旅

恒例となったいとう・きしべ両後援会合同のふれあいバスツアーとして、11月17日小江戸・川越散策と大宮鉄道博物館を見学した。

いとう後援会からも25名の参加を得て、秋の一日をゆったり楽しんだ。

### 賛助会員制度が順調継続

前年度に引き続いて会員に協力要請し、順調な会員手続きが進んだ。ひと口千円で一口以上を申し出ていただき、昨年総会以降のおよそ一年間で実人数( )名、合計で

( )口分の振入手続きがあり、後援会活動のとりわけ文書郵送経費の面で多大な支援を得た。

